

しがのふるさと支え合いプロジェクトに

わたしたちの暮らしを支える中山間地域

「中山間地域」とは、山間地とその周辺の地域をいいます。山地の多い日本では、このような中山間地域が総土地面積の約7割を占めています。滋賀県では、県土の約65%が中山間地域です。また県内の総農家数のうち、中山間地域の農家数は約30%で、地域の状況に応じた様々な農業が展開され、県農業において重要な位置を占めています。中山間地域は私たちが生きていくのに必要な食糧生産の場であるだけでなく、水田で雨水を一時的に蓄えて洪水や土砂崩れを防いだり、多様な生き物を育みます。また美しい農山村の風景は、私たちの心を和ませる役割を果たしています。特に、本県の中山間地域は、近畿圏約1,450万人の水源である「琵琶湖」を取り囲む形で存在し、多くの人たちの暮らしを守っています。近年、これらの地域にある農山村では、人口減少や高齢化、それに伴う農業の担い手不足などが原因で、耕作放棄地が増えたり、祭りなどの伝統文化の継承が難しくなっていますが、住民の力だけでは農山村を維持するのが厳しい状況になりつつあります。



▲ 農業・農村の持つ機能イメージ図 (出典：農林水産省 WEB サイト http://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/)

参加してみませんか？

プロジェクトについて

「しがのふるさと支え合いプロジェクト」は、中山間地域の集落や地域活動団体と、企業や大学、NPO 法人等の皆さんが協働・連携し、それぞれが有する知恵や経験、ネットワーク等の力を活かした取組を進めることで、地域の活性化につながることを目的としています。本プロジェクトは国際目標である SDGs(持続可能な開発目標)を推進する活動にもつながります。

皆さんが中山間地域の農山村でつながり、ともに活動されることを通じて、地域が活性化するだけでなく、農山村から新しい風が吹きはじめ、やがて広がっていくことを願っています。



(外務省 HP) <https://www.mofa.go.jp>sdgs>about>

